

平成 24 年 12 月 12 日

“ 福島を知る ” 短期留学プログラム

「Fukushima Ambassadors Program」第 2 回開催

概要

この度、平成 25 年 1 月 8 日（火）から 1 月 18 日（金）にかけて、協定大学であるアルバニー大学（アメリカ、ニューヨーク州）から交換留学生 9 名を特別聴講生として受け入れ、大学間連携事業としてアカデミア・コンソーシアムふくしま参加校と共に短期留学プログラム「Fukushima Ambassadors Program」を開催することとなりました。

本プログラムは、平成 24 年 6 月にもミドルテネシー州立大学から学生を招いて開催され、今回が 2 回目の開催となります。プログラムの趣旨は、本やインターネットでは知る事の出来ない東日本大震災と原発事故に関する「生きた知識」を、参加学生に学習してもらうことであり、福島県県内の被災地域の住民と交流をしながら、被災地の視察や、復興ボランティア、風評被害に関する調査や、会津地方での文化体験などに参加をします。また、プログラムの中には相馬市でのホームステイが企画されており、それらや、40 名以上の福島県内の学生との交流などを通して、原発事故と共に生きる人々の姿や、自然災害の悲惨さ、そして何よりも世界的に有名となってしまった「FUKUSHIMA」の現状とその魅力を、参加学生が母国に伝える橋渡しとなる事が期待されています。

東日本大震災の影響で、福島県内における留学生の数は逡減の兆しを見せています。福島大学は、今後も短期留学プログラムを通じた留学生の呼び戻しや、世界への情報発信を積極的に行う事が重要であると考えており、また、短期留学プログラムでの運営ボランティア活動を通して、国際交流に意欲的な学生の語学力の向上と、海外派遣へのモチベーション増加も促進させるなど、グローバル教育を通じた強い人材育成に努めたいと考えております。

福島大学国際交流センター

担当：マクマイケル

TEL: 024 - 503 - 3066

第2回 Fukushima Ambassadors Program 日程(案)平成24年12月10日現在

* 日程は変更となる場合がございますので予めご了承ください。

日程	活動内容	活動の目的
1月8日(火曜日) 【移動のみ】	成田到着 福島のビジネスホテル到着・宿泊	
1月9日(水曜日) 【福島市】	プログラム・オリエンテーション・学内ツアー (オリエンタリング) 昼食:学食で自由昼食 福島市内のスタディーツアー 除染情報プラザでの放射能について勉強	1 東日本大震災についての基礎知識学習 2 放射線に関する基礎知識学習 3 学生とのアイスブレイキング
1月10日(木曜日) 【福島市・二本松市】	あづま果樹園訪問 飯舘村の方々との交流(食事作り、談話) 会場:だいにん村道の駅東和にて講話、バスで東和町散策	1 福島市近辺における放射線汚染の実態や、様々な二次・三次被害について学習すること 2 「食の安全」について考えること
1月11日(金曜日) 【相馬市】	原釜幼稚園にて子供達と交流 (屋内活動、餅つき):昼食 原釜海水浴場近辺 視察 仮設住宅にて交流 (相馬市役所経由) 相馬市にてホームステイ	1 津波被害の悲惨さや、復興の遅れ、被災自治体の現状、がれき受け入れ問題などについて学習すること 2 原釜地域の幼稚園児や、仮設住宅に住んでいる住民の方々との国際交流の機会を設けること 3 ホームステイを通して、相馬市での生活の現状を実体験すること
1月12日(土曜日) 【相馬市】	ホームステイ先と自由時間	
1月13日(日曜日) 【相馬市・南相馬市】	相馬市にてアルバニー大学の学生と待ち合わせ (相馬市役所駐車場) ボランティアセンターにて受付 < A案 > 小高地域にて瓦礫撤去作業 < B案 > 仙台市若林地区にて写真洗浄ボランティア 相馬市にてホームステイ	
1月14日(月曜日) 【会津若松市・喜多方市】	會津藩校日新館にて昼食 + 館内見学 会津鶴ヶ城見学、鶴ヶ城会館にてショッピング 喜多方市にて農家民泊	1 福島の美しい自然・歴史・食文化などといった観光資源を再発見すること 2 県北地域や浜通りとは異なる、会津地方特有の課題を知ること

1月15日(火曜日) 【喜多方市】	赤べこ制作体験 地域在住の被災者のエンパワーメント事業を行っている NPO とワークショップ ほまれ酒造見学	3 喜多方などで震災前から行われてきた地域活性化に向けた様々な取り組みについて学習すること
1月16日(水曜日) 【福島市】	福島大学にて、クロージング講義 福島大学学生と意見交換会 さよならパーティー	1 プログラムをとおして自分が見てきた物や課題などと、講演内容を照らし合わせる事で、印象を具現化させる事 2 福意見交換を通して、今後の復興に向けたアイデアなどにつながるヒントを創出すること
1月17日(木曜日) 【川内村】	川内村訪問、村民との交流 いわき市着・宿泊(小名浜)	1 原発事故により避難区域となった場所が、再度開かれることによって直面している課題や、今後への希望について学習すること
1月18日(水曜日) 【いわき市】	アクアマリンふくしま見学・震災時の話 漁師さんの震災体験の話と意見交換 東京へ移動	2 福島の漁業や水産加工業の被災状況や、復興の実態、今後の課題について学習すること